

【地域の概要】

- 本市は県の南西部に位置し、西は県都・岐阜市に隣接しながら、北は福井県境となっており、面積374.56km²と広く、その8割は森林です。
- 管内農地面積は1,820haあり、担い手への集積面積は809ha、集積率約44%、農用地面積は1,587.3haとなっています。
- 広大な農地面積の担当区域を、根尾地域、本巣地域、糸貫地域、真正地域の4地域に分けて、農業委員19人、推進委員18人で活動をしています。
- 東海環状自動車道の開通を前に、住宅や大規模な工場、店舗等の転用申請が増加。毎月20件程の農地法審議を行っています。

①取組開始前の状況や課題

担い手への農地集積の状況

- 根尾地区 農地面積約263ha 集積率5.4%
- 真正地区 農地面積約478ha 集積率54.3%

課題

- 根尾地区は、耕作者の確保が課題となっており、5年後、10年後に自作等ができなくなった農地を守っていくための検討が必要とされている。
- 真正地区は、集積率が徐々に上がりつつあるが、農地バンク制度の周知、荒廃農地の早期発見、解消については引き続き必要である。
- 守るべき農地（優良農地）の選定、所有者の意向を把握することで、将来的に担い手への貸付を推進することに繋げる。

〈R5年度調査対象〉

- 根尾地域 33戸 7.86ha
- 真正地域 37戸 7.55ha

②取組内容

根尾地区・真正地区の調査対象者の選定（令和5年5～10月）

- 自作されている農地のうち、担い手の耕作が見込まれる農地を、認定農業者である農業委員・推進委員と事務局がピックアップ。



根尾地区

真正地区

所有者への利用意向調査を実施

- 担当地区の農業委員・農地利用最適化推進委員が戸別訪問及び電話などにより聴き取り。
- 根尾地区は、優良農地の選定に重視して調査を実施。

戸別訪問の実施（令和5年12月）

- 約1カ月間で調査し、耕作継続や貸付希望などの意向を把握。（市外在住者は郵送）

③今後の展開と方向性

所有者の意向を把握

- （実績）根尾地区 25戸 6.86ha
- 真正地区 29戸 7.11ha

農地マッチング会議で利用調整

- 貸付意向の農地情報をとりまとめ、地図に落とし込み資料作成。
- 担い手が参加する農地マッチング会議で情報提供し協議を実施。
- 農地マッチングで利用調整できた農地について、農地中間管理事業による貸借に繋げる。

地域計画への活用

- 今回の意向調査にて収集したアンケート結果を地域計画に活用し、目標地図作成等で反映させ、担い手への集約化等の参考資料としても利用を検討していく。